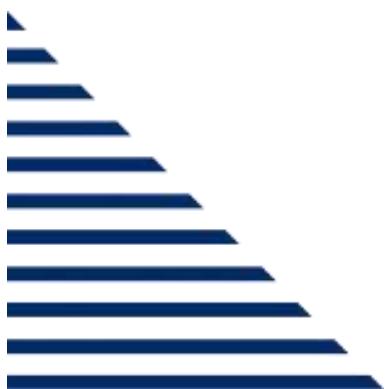




長岡京市男女共同参画計画 第7次計画  
令和4年度 進行管理報告書

令和5年9月  
長岡京市



<計画の体系>

基本目標	成果指標	活動指標	担当課
I 人権の尊重と 男女共同参画 の意識づくり	「社会全般」として 「男女が平等になっ ている」と感じている 人の割合	1. ホームページにおける市 の「男女共同参画」ページ へのアクセス数	男女共同参画 センター
	「男性は仕事、女性は 家庭」と思う人の割合	2. 男女共同参画週間事業参 加者へのアンケートで「男 女共同参画への意識が深 まった」と回答した人の割 合	男女共同参画 センター
		3. 性の多様性理解啓発事業 参加者へのアンケートで 「性の多様性への意識が 深まった」と回答した人の 割合	共生社会推進 課
II 男女平等・男 女共同参画の 視点に立った 教育・学習の 推進	「男女共同参画社会」 という言葉の認知度	4. 若年層に向けた男女共同 参画に関する意識啓発の 回数	男女共同参画 センター
		5. 男女共同参画に関する講 座・セミナーの参加者数	男女共同参画 センター
III あらゆる分野 における女性 活躍の推進	「政治・行政の場」で 「男女が平等になっ ている」と感じている 人の割合	6. 長岡市審議会等への女 性委員の参画比率	男女共同参画 センター
		7. 長岡市審議会等への 女性委員の参画比率が 40%～60%である割合	男女共同参画 センター
	「職場」で「男女が平 等になっている」と感 じている人の割合	8. 長岡市の女性管理職の 割合	職員課
		9. 男女共同参画フロア(いこ ～る)の承認団体数	男女共同参画 センター
	「地域」で「男女が平 等になっている」と感 じている人の割合	10. 女性活躍に関する講座の 参加者数	男女共同参画 センター
		11. 防災学習会の実施回数と 女性参加者の割合	防災・安全推進 室

	「家庭生活」で「男女が平等になっている」と感じている人の割合	12. 男性に向けた男女共同参画に関する意識啓発の回数 13. 長岡市男性職員の育児休業取得者数	男女共同参画センター（中央公民館、北開田会館） 職員課
<b>IV あらゆる暴力 の根絶</b>	「ドメスティック・バイオレンスやデートDV」を女性の人権侵害と思う人の割合	14. 若年層へのDV等防止啓発事業の実施回数	男女共同参画センター
	男女共同参画センター（女性の相談室・男性電話相談）を知っている人の割合	15. パープル&オレンジリボンプロジェクトの参加者数	男女共同参画センター
<b>V 健康で安心な暮らしの実現</b>	「リプロダクティブ・ヘルス／ライツ」という言葉の認知度	16. 乳がん検診受診率（40～69歳）	健康づくり推進課
		17. 子育て応援教室の参加率	健康づくり推進課

長岡京市男女共同参画計画第7次計画 令和4年度進行管理 達成状況一覧

活動指標	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度 □は達成	R7年度 目標値
①ホームページにおける市の「男女共同参画」ページへのアクセス数	32,251件/年	45,062件/年				20,000件/年
②男女共同参画週間事業参加者へのアンケートで「男女共同参画への意識が深まつた」と回答した人の割合	86.7%	73.8%				80.0%
③性の多様性理解啓発事業参加者へのアンケートで「性の多様性への意識が深まつた」と回答した人の割合	91.6%	86.3%				60.0%
④若年層に向けた男女共同参画に関する意識啓発の回数	10回/年	11回/年				9回/年
⑤男女共同参画に関する講座・セミナーの参加者数	406人/年	657人/年				のべ600人/年
⑥長岡京市審議会等への女性委員の参画比率	38.0%	39.9%				40.0%
⑦長岡京市の審議会等への女性委員の参画比率が40%～60%である割合	40.7% (22/54 審議会)	48.1% (26/54 審議会)				65.0%
⑧長岡京市の女性管理職の割合	29.9%	29.3%				30.0%
⑨男女共同参画フロア(いこ～る)の承認団体数	15団体	14団体				20団体
⑩女性活躍に関する講座の参加者数	のべ51人/年	のべ36人/年				のべ50人/年
⑪防災学習会の実施回数と女性参加者の割合	22回/年 58.9%	43回/年 60.4%				58回/年 50.0%
⑫男性に向けた男女共同参画に関する意識啓発の回数	4回/年	6回/年				5回/年
⑬長岡京市男性職員の育児休業取得者数	4人 (新規3人)	12人 (新規8人)				実数5人/5年間
⑭若年層へのDV等防止啓発事業の実施回数	3回/年	4回/年				5回/年
⑮パープル&オレンジリボンプロジェクトの参加者数	のべ782人/年	のべ511人/年				のべ400人/年
⑯乳がん検診受診率(40～69歳)	11.3%	12.7%				13.8%
⑰子育て応援教室の参加率	17.9%	13.7%				25.0%

## 基本目標 I 人権の尊重と男女共同参画の意識づくり

様々な機会や媒体を活用し、あらゆる世代に向け男女平等・男女共同参画意識啓発を行い、「ジェンダー平等の実現」を推進します。また、多様な性のあり方を尊重する取り組みを進め、一人ひとりの人権が尊重される社会の意識づくりを進めます。

取組方針	施策の方向
1 男女平等・男女共同参画意識の浸透	1 男女平等・男女共同参画の意識の浸透 2 國際的視野に立った男女共同参画施策の情報収集・提供の充実 3 相談の充実 4 情報化社会における人権尊重・男女平等の推進
2 性の多様性を認め合う意識の醸成	5 性の多様性への理解促進

活動指標①	ホームページにおける市の「男女共同参画」ページへのアクセス数			
指標内容	男女共同参画の意識啓発の進む度合について、ホームページで新たな情報を発信するとともに、市民の関心をひくような内容の充実が図られているかをアクセス件数によって測ります。			
担当課	男女共同参画センター			
目標値	20,000 (令和7年度) 単位 件／年			
現状値	17,636 (令和元年度)			
令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	32,251	45,062		
令和4年度 担当課所見	女性活躍推進法の改正やAV出演被害防止・救済法成立など、ホームページの内容の充実に努めました。 最もアクセス数の多かったページは、令和3年度に引き続き「世界における日本の男女共同参画～ジェンダー・ギャップ(男女平等)指数2022～」が25,428件で、前年度9,338件から約2.7倍に大幅に増加しました。続いて「長岡市男女共同参画センター」が1,258件、「女性の相談室」が1,225件と、千件を超えるアクセスがありました。 今後もセンター事業をはじめ、男女共同参画の啓発内容の充実を図ります。			

活動指標②	男女共同参画週間事業参加者へのアンケートで「男女共同参画への意識が深まった」と回答した人の割合				
指標内容	男女共同参画週間事業を開催し、どれだけの参加者が男女平等・男女共同参画への意識を深めることや意識変革ができたかを測ります。				
担当課	男女共同参画センター				
目標値	80.0 (令和7年度)		単位 %		
現状値	69.7 (令和元年度)				
令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
86.7	73.8				
令和4年度 担当課所見	<p>男女共同参画週間講演会「夫婦の『呼び名』はどこから来たの？～なぜ夫は『主人』で、妻は『家内』なの？～」を実施しました。男女共同参画の意識が「深まった」、「どちらかといえば深まった」の回答は73.8%となり目標値を下回りました。また、「ジェンダーについて考えるきっかけになったか」のアンケート結果も「なった」「どちらかといえばなった」は、69.0%と低い結果になりました。これは、「パートナーの呼び名にこだわらなくてもよい」「使いやすければよい」とする回答が実績値を下げる要因となったためです。</p> <p>講演会の開催に加え、図書館での啓発コーナーや男女共同参画センターの関連本の展示など、広く啓発を実施しました。</p>				

活動指標③	性の多様性理解啓発事業参加者へのアンケートで「性の多様性への意識が深まった」と回答した人の割合				
指標内容	性の多様性理解啓発事業を開催し、どれだけの参加者が性の多様性への意識を深めることや意識変革ができたかを測ります。				
担当課	共生社会推進課				
目標値	60.0 (令和7年度)		単位 %		
現状値	令和3年度からの新規				
令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
91.6	86.3				
令和4年度 担当課所見	多様な性を考える講座「LGBTQ の基礎知識と働きやすい職場づくりのためにできること」を実施し、多様性を尊重する意識の醸成に取り組みました。広報やチラシ、市ホームページなどで積極的なPRを行い、関心の高い参加者が多く見られました。来年度以降もより幅広い層に向けて参加を呼び掛けるよう努めます。				

## 基本目標 II 男女平等・男女共同参画の視点に立った教育・学習の推進

子どもたちが性別にとらわれることなく、それぞれの個性を発揮して、誰もが共に活躍できるように、保育所や学校、家庭などで男女平等教育・学習を推進します。また、男女共同参画社会が、すべての人にとって暮らしやすい社会づくりにつながるという認識を広げる学習機会の充実を図ります。

取組方針	施策の方向
3 子どもにとっての男女共同参画の理解促進	6 学校、保育所、幼稚園など教育・保育の場での男女平等教育・学習の推進 7 家庭・地域での子どもの将来を見通した自己形成の推進
4 生涯学習の場での男女共同参画の推進	8 多様な選択を可能にする学習機会の提供

活動指標④	若年層に向けた男女共同参画に関する意識啓発の回数			
指標内容	中高生や大学生などを対象にした男女共同参画に関する啓発の回数によって、若年層に対する男女共同参画意識の啓発の充実度を測ります。			
担当課	男女共同参画センター			
目標値	9（令和7年度）		単位 回／年	
現状値	8（令和元年度）			
令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
10	11			
令和4年度 担当課所見	市立中学校4校及び立命館高等学校に「長岡京市男女共同参画推進条例啓発冊子 Dreams come true」の配布を行い、条例の基本理念と男女共同参画を進めるための鍵、アンコンシャス・バイアスへの気づき、多様な性のあり方、デートDVや対等な関係性を考えることを目的として授業で活用していただきました。 また、長岡第二中学校、長岡第四中学校、乙訓高等学校では「性の多様性出前授業」を、西山短期大学では、11月のパープル&オレンジリボンプロジェクトにあわせた啓発資料の配布、さらに乙訓高等学校、西乙訓高等学校で「デートDV防止啓発出前授業」を実施しました。 中学校、高等学校、短期大学へ啓発の充実を図り、目標値を達成しています。			

活動指標⑤	男女共同参画に関する講座・セミナーの参加者数			
指標内容	男女共同参画に関する講座などへの参加者数によって、教育・保育及び生涯学習の場での男女平等・男女共同参画意識を深めることや意識変革ができたかを測ります。			
担当課	男女共同参画センター			
目標値	のべ 600 (令和 7 年度)		単位 人／年	
現状値	のべ 586 (令和元年度)			
令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
406	657			
令和 4 年度 担当課所見	<p>令和 4 年度は、人権・男女共同参画フォーラムや DV・児童虐待防止、女性活躍、女性支援、子育て支援、男女共同参画、男性支援の分野において、15 講座を実施し、参加者は 657 人に上り目標を達成しました。</p> <p>特に、人権・男女共同参画フォーラムは、「障がい者児の人権を考える市民のひろば」を合同開催しており、コロナ感染症により中止されていた様々な体験コーナー等が復活したことが参加者が増えた要因の一つとなりました。</p> <p>また、市制 50 周年記念事業として、「男女共同参画年表」や「自分らしく生きられる未来へ向けたメッセージ」等を展示し、男女共同参画社会の実現に向けた男女共同参画センターからの発信とすることができました。</p>			

### **基本目標 III あらゆる分野における女性活躍の推進**

誰もが共に様々な分野における方針決定の場に参画し、活躍できる社会づくりを推進します。また、職場と家庭生活や地域活動など、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた働きかけを行います。市民団体の男女共同参画の取り組みを支援し、男女共同参画の地域づくりを進めます。

取組方針	施策の方向
5 政策・方針決定の場への女性の参画拡大	9 市における女性の登用の推進 10 女性リーダーの育成
6 働く場における女性の活躍推進	11 男女平等の雇用機会と待遇の確保 12 女性の起業と就労支援 13 事業所における女性活躍推進への働きかけ
7 地域における男女共同参画の推進	14 あらゆる世代が男女共同参画で取り組む地域づくりの推進 15 防災における男女共同参画の推進 16 男女共同参画を推進する市民活動の支援
8 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現	17 仕事と子育て・介護の両立支援の推進 18 男性の子育て・家庭生活・地域活動への参画促進 19 事業所におけるワーク・ライフ・バランスの理解促進

活動指標⑥	長岡市審議会等への女性委員の参画比率			
指標内容	審議会などの全委員に占める全女性委員の割合によって、政策・方針決定の場への女性の参画の進む度合を測ります。			
担当課	男女共同参画センター			
目標値	40.0 (令和7年度)	単位	%	
現状値	34.2 (令和元年度)			
令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	38.0	39.9		
令和4年度 担当課所見	審議会等の女性委員の参画比率は 39.9%と目標値にあと 0.1 ポイント届きませんでしたが、昨年度より 1.9 ポイント上昇しました。令和3年度より市民公募委員の登用率を事前協議書に追加したことなど、関係各課へ働きかけを行ってきた成果として数字の改善につながったと推察されます。			

活動指標⑦	長岡市の審議会等への女性委員の参画比率が 40%～60%である割合				
指標内容	長岡市男女共同参画推進条例に定める審議会などの女性委員割合を達成するため、どれだけの審議会などが達成できているかで積極的格差是正措置の進む度合を測ります。				
担当課	男女共同参画センター				
目標値	65.0 (令和 7 年度)		単位 %		
現状値	41.8 (23/55 審議会) (令和元年度)				
令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
40.7 (22/54)	48.1 (26/54)	( / )	( / )	( / )	
令和 4 年度 担当課所見	女性委員の参画比率が 40%～60%の審議会の割合は、昨年度と比較して 7.4 ポイント上昇しましたが、48.1%と低い結果となりました。審議会等への女性委員の参画比率は少しずつ上昇しています。女性委員を選出できない理由としては、専門分野に女性参画が進んでいないことや、選出団体に女性の役職者がいないことなどが挙げられます。逆に女性委員の参画比率が 60%を超える審議会も 4 件ありました。あらゆる分野で女性の参画を進めることができます。				

活動指標⑧	長岡市の女性管理職の割合				
指標内容	管理職の女性割合によって、女性職員が性別にかかわりなく能力を発揮できているかを測ります。				
担当課	職員課				
目標値	30.0 (令和 7 年度)		単位 %		
現状値	25.5 (令和元年度)				
令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
29.9	29.3				
令和 4 年度 担当課所見	管理職への女性の登用に継続して取り組んでおり、割合は昨年度とほぼ横ばいとなりましたが、目標値に迫る数値となっています。今後も引き続き女性の活躍を推進するための環境を整備し、性別や固定概念にとらわれることなく全職員がその能力を発揮できる職場づくりに努めます。				

活動指標⑨	男女共同参画フロア（いこ～る）の承認団体数			
指標内容	多世代交流ふれあいセンターの男女共同参画フロアを拠点とした活動団体の数によって、地域での男女共同参画の進捗状況を測ります。			
担当課	男女共同参画センター			
目標値	20（令和7年度）		単位 団体	
現状値	17（令和元年度）			
令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	15	14		
令和4年度 担当課所見	コロナ感染症による男女共同参画フロアの利用人数制限が、令和4年5月まで続き、多世代交流ふれあいセンターの給排水設備工事が8月から11月の長期にわたり行われたため、フロアの利用可能日が大幅に減少し、承認団体の利用が大幅に減少しました。また、コロナ感染防止のための活動控えに加え、フロアの利用制限が多いことも、承認団体が減少する一因となっています。			

活動指標⑩	女性活躍に関する講座の参加者数			
指標内容	女性活躍をテーマとした講座やセミナーなどへの参加者数によって、女性活躍への支援の充実度を測ります。			
担当課	男女共同参画センター			
目標値	のべ50（令和7年度）		単位 人／年	
現状値	のべ31（令和元年度）			
令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	51	36		
令和4年度 担当課所見	<p>女性活躍推進講座として2講座実施しましたが、参加者数は36人となり目標値には到達しませんでした。</p> <p>1講座は、マザーズジョブカフェと共に、「初めてのパソコン～エクセル編」を実施し、定員を超える52名の申し込みがありましたが、定員が30名だったため、実際の参加は29人でした。実施後のアンケートでは、「エクセルを活かせる仕事を探したい」「仕事範囲を広げる」「条件があればすぐにでも就労したい」と就労継続や就労意欲の高さがうかがえる講座となりました。</p> <p>もう1講座は、市内で創業されている女性を対象に講師の募集を行い、応募された2名の内の1名の方を講師としてお迎えし、就労経験を活かして好きなことを仕事にする思いについてお話をいただきました。</p>			

活動指標⑪	防災学習会の実施回数と女性参加者の割合				
指標内容	防災学習会の実施回数と女性参加者の割合によって、防災における男女共同参画意識の浸透の度合を測ります。				
担当課	防災・安全推進室				
目標値	58 (50.0%) (令和7年度)		目標値		
現状値	29 (54.3%) (令和元年度)				
令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	22 (58.9%)	43 (60.4%)	( %)	( %)	( %)
令和4年度 担当課所見	新型コロナウイルス感染症の影響があったものの前年比約2倍の実施回数となりました。また、参加者の半数以上が女性参加者であり、防災における男女共同参画意識が浸透しつつあると思います。今後、起こりうる災害への意識が高まっている中で、より多くの地域・団体、また、若年層に対しても防災啓発を実施していき、防災における男女共同参画意識の浸透を図っていきます。				

活動指標⑫	男性に向けた男女共同参画に関する意識啓発の回数				
指標内容	男性への男女平等・男女共同参画に関する啓発の回数によって、男性に対する男女共同参画意識とワーク・ライフ・バランスの意識啓発の充実度を測ります。				
担当課	男女共同参画センター（中央公民館、北開田会館）				
目標値	5 (令和7年度)		単位 回／年		
現状値	4 (令和元年度)				
令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	4	6			
令和4年度 担当課所見	中央公民館の男女共同参画講座を1回と北開田会館の料理教室を3回、男女共同参画センターの男性支援講座を2回開催し、合計6回となり目標を達成することができました。 男女共同参画センターでは、男性支援講座を2講座実施し、1講座は、「熟年世代の財産管理と承継について」と題して、熟年世代における財産管理や相続・遺言、成年後見など、知っておきたい制度のことを学びました。もう1講座は、「男性のための心理学～家庭や職場で活かせるコミュニケーション～語る力と聴く力」を実施し、自分も相手もストレスをためないような考え方やコミュニケーションについて、ワークをまじえて体験的に学びました。男女共同参画社会の実現のためには男性の意識醸成が必須であることから、今後も男性に向けた講座等を実施していきます。				

活動指標⑬	長岡京市男性職員の育児休業取得者数			
指標内容	市男性職員の育児休業を取得している人数によって、男女が共同で行う子育てとワーク・ライフ・バランスの意識の浸透が進んでいくかを測ります。			
担当課	職員課			
目標値	実数 5／5 年間 (令和 7 年度)		単位 人／5 年間	
現状値	実数 2／5 年間 (令和元年度)			
令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
4 (新規 3)	12 (新規 8)			
令和 4 年度 担当課所見	令和 4 年度は男性職員 8 名が育児休業を取得しました。 今後も引き続き LINEWORKS を活用するなど、職場全体への制度の周知方法を検討するとともに、制度対象者に対する個別説明の実施や職場復帰の支援などを充実させていきます。			

## 基本目標 IV あらゆる暴力の根絶

女性に対する暴力をはじめ、あらゆる暴力の根絶に向けた啓発や学習機会の充実を図ります。また、若年層の性被害等の防止に向けた情報提供と啓発を進めます。相談体制を充実し、総合的な被害者保護に取り組みます。

セクシュアル・ハラスメントをはじめとする様々なハラスメント防止への意識啓発を進めます。

取組方針	施策の方向
9 女性に対する暴力を許さない社会づくりの意識啓発	20 あらゆる暴力を許さない意識啓発と学習機会の提供
10 配偶者等からの暴力の防止と被害者の保護	21 相談・支援体制の充実 22 被害者保護の徹底と包括的支援・加害者更生支援
11 ハラスメント防止への取り組み	23 様々なハラスメント防止の働きかけと周知

活動指標⑭	若年層へのDV等防止啓発事業の実施回数				
指標内容	中高生や大学生などを対象にしたDV等防止啓発事業の実施回数によって、若年層への暴力を許さない意識の啓発機会の充実度を測ります。				
担当課	男女共同参画センター				
目標値	5（令和7年度）			単位 回／年	
現状値	4（令和元年度）				
令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
3	4				
令和4年度 担当課所見	乙訓高等学校と西乙訓高等学校の2年生を対象に「デートDV防止啓発出前授業」を実施し、3年生には、フォローアップとして「京都SARA」の啓発冊子配布による啓発を行い、若年層には対等な関係を築くこと、そして、「性的同意」が性被害等の防止につながることを伝えました。西山短期大学では、11月の学園祭に合わせて、女性に対する暴力をなくす運動のポスター・チラシ、市主催のDVや児童虐待防止の講座の案内等周知依頼を行いました。 また、市内4保育所の保育士対象に「幼児期の性教育」の出前講座を実施しました。日常の保育の中で、困ったこと、配慮する内容を中心に、自分の身体も相手の身体も大切にすること、そして、自分の身体に触られたときに嫌なら嫌と言えることが性被害の防止につながるということを啓発しました。				

活動指標⑯	パープル&オレンジリボンプロジェクトの参加者数				
指標内容	パープル&オレンジリボンプロジェクトの参加者数によって、ドメスティック・バイオレンス、デートDV、セクシュアル・ハラスメントなど女性に対する暴力や児童虐待を許さない意識の醸成状況を測ります。				
担当課	男女共同参画センター				
目標値	のべ 400 (令和 7 年度)		単位 人／年		
現状値	のべ 310 (令和元年度)				
令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
782	511				
令和 4 年度 担当課所見	<p>11 月のパープル&amp;オレンジリボンプロジェクト期間中、講演会及び講座を 2 講座実施しました。</p> <p>「身近なところで DV が起こったら～私たちにできることは？～」では、「講座に参加して DV や児童虐待について関心や理解が深まった」とする回答が 83.3% となり、相談機関の具体的な事例を通して DV の知識を深めることができたと考えられます。</p> <p>また、「虐待の淵を生き抜いて～人にもモノにも自分にもあたらぬ社会をめざして～」では、虐待を受けた当事者から直接体験をお聞きすることで、「DV や児童虐待について、関心や理解が深まった」とする回答が 96.6% となり、2 講座とおして、DV と児童虐待防止の啓発につながったと考えます。その他、高等学校 2 校でのデート DV 出前授業や 11 月の図書館啓発コーナー等、年間を通じ啓発を行いました。</p>				

## 基本目標 V 健康で安心な暮らしの実現

心身の健康は、生活の質に大きく関わってくる重要な問題です。リプロダクティブ・ヘルス／ライツ（性と生殖に関する健康と権利）についての理解を深めることは、個人の健康と権利を守り、責任を持った生活を送る上で欠かせません。一人の人間として尊重され、健康で安心した生活を送れるよう、支援します。

取組方針	施策の方向
12 リプロダクティブ・ヘルス／ライツ（性と生殖に関する健康と権利）に基づく女性の健康支援	24 性に関する理解と性感染症予防などの啓発 25 安心して妊娠・出産できる環境の整備
13 生涯を通じた健康づくりの支援	26 ライフステージに応じた健康支援 27 心と体の健康支援
14 様々な状況にある人への支援と環境整備	28 高齢者・障がいのある人・外国人等が安心して暮らせる環境の整備 29 ひとり親家庭への支援

活動指標⑯	乳がん検診受診率（40～69歳）				
指標内容	女性に特有な乳がんの予防、早期発見や早期治療できるよう検査等を実施し、女性の健康づくりの環境の充実や意識の浸透の度合を測ります。				
担当課	健康づくり推進課				
目標値	13.8（令和7年度）	単位	%		
現状値	13.3（令和元年度）				
令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
11.3%	12.7%				
令和4年度 担当課所見	委託医療機関で個別検診の受け入れ枠の拡大などにより、受診者は増えています。今後も、受診日や受診時間の選択肢を増やし、働く世代が受診しやすい体制を整え、様々な機会を通じて受診を勧める啓発を行い、受診率の向上に努めていきます。				

活動指標⑯	子育て応援教室の参加率			
指標内容	妊婦や父親が安心して育児ができるよう子育て応援教室を実施し、妊婦の育児環境の充実や父親の育児への意識の浸透の度合を測ります。			
担当課	健康づくり推進課			
目標値	25.0 (令和 7 年度)		単位 %	
現状値	21.3 (令和元年度)			
令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
17.9	13.7			
令和 4 年度 担当課所見	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和 3 年度に引き続き Web 会議アプリ Zoom を使用したオンライン形式の子育て応援教室を実施しました。オンラインでの参加が難しい場合には DVD や資料の貸し出しを行いました。教材には、妊娠中～出産後の生活を夫婦で考える時間を取り入れ、妊娠中から出産・育児に関する知識を深めて夫婦が協力して子育てを行う意識を高められる内容としました。</p> <p>前年度と比較して減少しているのは、仕事等で参加できない、Zoom の使い方に慣れていない、ネット環境が整っていない、対面での教室希望等の理由が考えられます。次年度以降は、開催方法について引き続き検討し参加率の向上に努めていきます。</p>			

## 【参考資料】

### ➤ 女性議員比率（令和3年12月31日現在）

	長岡京市	京都府市區	全国市区
比率	31.8%	22.3%	17.5%
現員	22人	359人	18,698人
女性議員	7人	80人	3,263人

\* 全国市区、京都府市區には政令指定都市の市議会を含む。

出典：「地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況（令和4年度）」（内閣府男女共同参画局）

### ➤ 審議会等の女性委員比率（令和4年4月1日現在）

	A	B	比率 B/A	参考	
	委員総数	女性委員数		京都府市町村	全国
	審議会等数	女性委員が 40～60%の 審議会等数			
附属機関 (地方自治法第202条 の3)	315	113	35.9%	30.6%	28.0%
	30	16	53.3%		
行政委員会 (地方自治法第180条 の5)	31	6	19.4%	17.4%	
	6	2	33.3%		
懇談会等 (市の規則・要綱等)	223	108	48.4%		
	18	8	44.4%		
合 計	569	227	39.9%	32.5%	
	54	26	48.1%		

\* 基準日現在休会中のものは除く。

\* 女性委員が40～60%の審議会等数には、委員の定数が3人である審議会等で、女性の構成人数が1人又は2人の場合を含む。

\* 全国市区町村、京都府市區町村には政令指定都市を含む。

出典：「地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況（令和4年度）」（内閣府男女共同参画局）

## 附属機関（地方自治法第 202 条の 3）の女性比率

\* 地方自治法第 202 条の 3 に定める、法律若しくはこれに基づく政令又は条例の定めるところにより、  
その担任する事項について調停、審査、審議又は調査等を行う機関

審議会等の名称		委員総数 (人)	うち女性 委員数 (人)	女性 比率 (%)	担当
1	情報公開・個人情報保護運営審議会	9	4	44.4	総務課
2	情報公開・個人情報保護審査会	4	1	25.0	総務課
3	行政不服審査会	4	1	25.0	総務課
4	公務災害補償等認定委員会	5	1	20.0	職員課
5	公務災害補償等審査会	3	0	0.0	職員課
6	法令遵守委員会	5	2	40.0	総合調整法務課
7	男女共同参画審議会	13	7	53.8	男女共同参画センター
8	行財政健全化推進委員会	10	3	30.0	総合計画推進課
9	防災会議	30	5	16.7	防災・安全推進室
10	国民保護協議会	26	3	11.5	防災・安全推進室
11	建築紛争調整委員会	3	1	33.3	総務課
12	生活環境審議会	15	8	53.3	環境政策室
13	廃棄物減量等推進審議会	11	6	54.5	環境業務課
14	企業立地審査会	5	2	40.0	商工観光課
15	民生委員推薦会	14	7	50.0	社会福祉課
16	児童対策審議会	17	9	52.9	子育て支援課
17	国民健康保険運営協議会	13	4	30.8	国民健康保険課
18	乙訓休日応急診療所運営委員会	12	2	16.7	乙訓休日応急診療所
19	都市計画審議会	16	3	18.8	都市計画課
20	まちづくり審議会	9	3	33.3	都市計画課
21	景観デザイン審査会	5	1	20.0	都市計画課
22	ラブホテル建築等規制審議会	10	6	60.0	都市計画課
23	空き家等対策協議会	12	5	41.7	都市計画課
24	空き家等対策審査会	3	2	66.7	都市計画課
25	スポーツ推進審議会	14	6	42.9	文化・スポーツ振興課

26	いじめ防止対策推進委員会	5	1	20.0	学校教育課
27	社会教育委員会議	12	6	50.0	生涯学習課
28	文化財保護審議会	10	2	20.0	文化財保存活用課
29	公民館運営審議会	10	6	60.0	中央公民館
30	図書館協議会	10	6	60.0	図書館
計		315	113	35.9	

### 行政委員会（地方自治法第180条の5）の女性比率

\* 地方自治法第180条の5に定める委員会及び委員

	審議会等の名称	委員総数 (人)	うち女性 委員数 (人)	女性 比率 (%)	担当
1	選挙管理委員会	4	1	25.0	総務課
2	固定資産評価審査委員会	3	1	33.3	総務課
3	教育委員会	5	1	20.0	教育総務課
4	監査委員	2	0	0.0	監査委員事務局
5	公平委員会	3	1	33.3	公平委員会事務局
6	農業委員会	14	2	14.3	農業委員会事務局
計		31	6	19.4	

### 懇談会等の女性比率

\* 市の規則、要綱、要項及び要領に基づき設置される懇談会等

	審議会等の名称	委員総数 (人)	うち女性 委員数 (人)	女性 比率 (%)	担当課
1	平和ビジョン懇談会	13	4	30.8	共生社会推進課
2	北開田会館運営委員会	12	2	16.7	北開田会館
3	地域創生推進会議	12	3	25.0	総合計画推進課
4	入札監視委員会	3	1	33.3	検査指導課
5	(仮称) 自治振興条例検討委員会	11	5	45.5	自治振興室
6	産業文化会館運営委員会	10	6	60.0	商工観光課
7	(仮称) 長岡市中小企業振興条例検討会	12	3	25.0	商工観光課
8	地域健康福祉推進委員会健康づくり部会	9	5	55.6	健康づくり推進課
9	食育推進委員会	18	12	66.7	健康づくり推進課

10	地域健康福祉推進委員会	14	5	35.7	社会福祉課
11	市営浴場運営委員会	10	5	50.0	社会福祉課
12	地域健康福祉推進委員会障がい福祉部会	17	10	58.8	障がい福祉課
13	障がい者ネットワーク連絡調整チーム会議	25	13	52.0	障がい福祉課
14	地域健康福祉推進委員会高齢福祉部会	11	6	54.5	高齢介護課
15	高齢者虐待防止ネットワーク委員会	16	10	62.5	高齢介護課
16	地域包括支援センター運営協議会	10	8	80.0	高齢介護課
17	地域密着型サービス運営委員会	10	8	80.0	高齢介護課
18	北開田児童館運営協議会	10	2	20.0	北開田児童館
	計	223	108	48.4	

➤ 管理職・監督職の女性比率(令和4年4月1日現在)

長岡市 管理職・監督職の割合

	3			4			【参考】 5 (令和5年4月1日)		
	総数 (人)	女性数 (人)	女性 割合 (%)	総数 (人)	女性数 (人)	女性 割合 (%)	総数 (人)	女性数 (人)	女性 割合 (%)
管理職（部長級、次長級、課長級）	97	29	29.9	99	29	29.3	105	31	29.5
監督職（課長補佐級、係長級）	125	65	52.0	125	68	54.4	118	65	55.1
管理職・監督職 計	222	94	42.3	224	97	43.3	223	96	43.0
職員 計	564	294	52.1	565	298	52.7	568	299	52.6

管理職の割合

	長岡市	京都府市区町村	全国市区町村
比率	29.3%	19.7%	17.1%
総数	99 人	2,874 人	108,167 人
女性数	29 人	567 人	18,462 人

\* 全国市区町村、京都府市区町村には政令指定都市を含む

出典：「地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況（令和4年度）」（内閣府男女共同参画局）